

2016 年度環境データ集

－目次－

報告方針	1
環境パフォーマンス指標	2
環境パフォーマンスデータ算定方法	7
独立した第三者保証報告書	9

報告方針

集計対象範囲

TOTO株式会社および、国内外の連結子会社 52 社を対象としています。ただし、集計範囲が異なるデータについては個別に注釈を記載しています。

報告対象期間

2016 年度（日本：2016/4/1～2017/3/31、海外：2016/1/1～2016/12/31）を対象としています。

第三者保証

このアイコンのある指標は、2016年度を対象として、KPMGあずさサステナビリティ株式会社による保証を受けています。ただし、各指標の売上高原単位については、保証対象ではありません。

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」を参考にしています。

環境パフォーマンス指標

温室効果ガス(GHG)

(年度)

指標	単位	2012	2013	2014	2015	2016
<input checked="" type="checkbox"/> スコープ1	千 t-CO ₂	159	167	171	168	173
(売上高原単位)	t-CO ₂ /百万円	0.33	0.30	0.31	0.30	0.30
<input checked="" type="checkbox"/> スコープ2	千 t-CO ₂	140	149	156	157	161
(売上高原単位)	t-CO ₂ /百万円	0.29	0.27	0.29	0.28	0.28

(年度)

指標	単位	2015	2016
<input checked="" type="checkbox"/> スコープ3 カテゴリ11 (販売した製品の使用)	千 t-CO ₂	18,148	18,789

エネルギー消費

(年度)

指標	単位	2012	2013	2014	2015	2016
<input checked="" type="checkbox"/> 総エネルギー消費量	PJ (ペタジュール)	5.5	5.8	6.0	6.0	6.2
(売上高原単位)	GJ/百万円	11.5	10.5	11.0	10.5	10.8
<input checked="" type="checkbox"/> 購入電力量	GWh	277	292	301	302	304
(売上高原単位)	MWh/百万円	0.58	0.53	0.55	0.53	0.53
再生可能エネルギー発電量	MWh	202	217	198	215	185

水使用・排水

(年度)

指標	単位	2012	2013	2014	2015	2016
<input checked="" type="checkbox"/> 水使用量	千 m ³	2,702	2,601	2,800	2,851	2,866
(売上高原単位)	m ³ /百万円	5.67	4.70	5.14	5.02	4.99
(地下水使用量)	千 m ³	496	462	451	432	435
排水量	千 m ³	2,272	1,824	1,809	1,801	1,832
(売上高原単位)	m ³ /百万円	4.77	3.30	3.32	3.17	3.19
再生利用水量	千 m ³	1,266	1,416	1,893	1,711	1,728

※精度向上のため、地下水使用量を 2012 年度まで遡って修正しています。

廃棄物

(年度)

指標	単位	2012	2013	2014	2015	2016
廃棄物発生量	千 t	104.3	99.0	103.7	106.7	108.3
(売上高原単位)	t/百万円	219.0	178.9	190.4	187.9	188.7
廃棄物最終処分量	千 t	27.6	21.3	17.2	8.7	5.2
(売上高原単位)	t/百万円	57.9	38.5	31.6	15.3	9.1
リサイクル率	%	73.5	80.6	82.4	91.8	95.2
(国内)	%	99.9	99.9	99.9	100	100
(海外)	%	58.1	69.7	74.4	88.1	93.0
(TOTO 国内支社・営業所の古紙・ダンボール)	%	99.3	99.3	99.7	99.8	99.9
(国内販社・施工グループ会社の古紙・ダンボール)	%	99.9	100	100	100	99.9

大気排出

(年度)

	単位	2012	2013	2014	2015	2016
化学物質排出量	t	39.7	27.9	28.0	40.0	32.4
(売上高原単位)	kg/百万円	0.08	0.05	0.05	0.07	0.06
SOx 排出量	t	168.1	149.8	131.5	134.4	55.3
(売上高原単位)	kg/百万円	0.35	0.27	0.24	0.24	0.10
NOx 排出量	t	283.2	356.1	382.6	272.9	353.7
(売上高原単位)	kg/百万円	0.59	0.64	0.70	0.48	0.62
ばいじん排出量	t	150.6	110.8	152.3	133.4	285.5
(売上高原単位)	kg/百万円	0.32	0.20	0.28	0.22	0.50

※精度向上のため、2015年度のばいじん排出量を遡って修正しています。

水質総量規制制度対象物質

COD(化学的酸素要求度)

(年度)

事業所	単位	規制値	平均実測値				
			2012	2013	2014	2015	2016
TOTO (株) 小倉第二工場	kg/日	28.82	6.60	9.59	9.61	5.02	4.16
TOTO サニテクノ (株) 中津工場	kg/日	12.00	4.10	2.90	3.20	4.40	2.40
TOTO ファインセラミクス (株) 本社・中津工場	kg/日	4.70	2.35	0.28	0.22	0.31	0.19
TOTO アクアテクノ (株) 大分工場	kg/日	16.60	4.60	1.90	2.60	2.40	2.20
TOTO サニテクノ (株) 愛知工場	kg/日	4.30	—	—	0.70	0.63	0.71

窒素含有量

(年度)

事業所	単位	規制値	平均実測値				
			2012	2013	2014	2015	2016
TOTO (株) 小倉第二工場	kg/日	57.48	1.69	2.04	2.50	2.09	2.47
TOTO サニテクノ (株) 中津工場	kg/日	8.85	6.95	6.42	5.51	4.66	5.91
TOTO ファインセラミクス (株) 本社・中津工場	kg/日	8.20	0.93	1.44	0.92	1.10	0.93
TOTO アクアテクノ (株) 大分工場	kg/日	16.60	2.85	2.40	2.60	2.30	1.00
TOTO サニテクノ (株) 愛知工場	kg/日	3.70	—	—	0.06	0.25	0.23

りん含有量

(年度)

事業所	単位	規制値	平均実測値				
			2012	2013	2014	2015	2016
TOTO (株) 小倉第二工場	kg/日	5.75	0.05	0.08	0.06	0.04	0.04
TOTO サニテクノ (株) 中津工場	kg/日	0.60	0.11	0.03	0.07	0.03	0.02
TOTO ファインセラミクス (株) 本社・中津工場	kg/日	1.56	0.38	0.02	0.01	0.01	0.01
TOTO アクアテクノ (株) 大分工場	kg/日	4.98	0.40	0.30	0.30	0.30	0.20
TOTO サニテクノ (株) 愛知工場	kg/日	0.50	—	—	0.00	0.004	0.006

PRTR 法規制対象物質

2016 年度

政令 番号	物質名	単位	使用量	排出量			移動量	
				大気	水域	土壌	下水道	社外
31	アンチモンおよびその化合物	t	53.7	—	—	—	—	10.4
71	塩化第二鉄	l	11.6	—	—	—	—	—
80	キシレン	t	7.1	1.4	—	—	—	—
88	六価クロム化合物	t	3.7	0.001	0.029	—	—	1.1
133	酢酸 2-エトキシエチル	t	1.4	1.4	—	—	—	—
240	スチレン	t	987.8	19.7	—	—	—	0.8
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	t	6.1	0.02	—	—	—	—
300	トルエン	t	46.6	9.4	—	—	—	36.8
308	ニッケル	t	12.3	—	—	—	—	2.8
309	ニッケル化合物	t	4.1	—	0.04	—	—	2.6
354	フタル酸ジ-n-ブチル	t	1.6	0.005	—	—	—	0.486
355	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	t	1.1	—	—	—	—	—
405	ほう素およびその化合物	t	4.6	—	0.07	—	—	0.006
413	無水フタル酸	t	5.8	0.28	—	—	—	0.019
420	メタクリル酸メチル	t	4.9	0.24	—	—	—	0.02
438	メチルナフタレン	t	17.9	0.06	—	—	—	—
448	メチレンビス(4,1-フェニレン) = ジイソシアネート	t	4.9	—	—	—	—	—

環境パフォーマンスデータ算定方法

指標	算定方法
スコープ 1 排出量	燃料の使用に伴う CO ₂ 排出量 + 6.5 ガスの CO ₂ 換算排出量 【CO ₂ 排出係数】 環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver.2.4)」
スコープ 2 排出量	電力・熱の購入に伴う CO ₂ 排出量 【電力の CO ₂ 排出係数(国内)】 環境省「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン(試案 Ver.1.6)」 【電力の CO ₂ 排出係数(海外)】 GHG Protocol, Calculation Tools, “Indirect CO ₂ Emission from Purchased Electricity. Version 3.0” 【蒸気の CO ₂ 排出係数】 環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver.2.4)」
スコープ 3 排出量 カテゴリ 11 (販売した製品の使用)	主要商品 ^{※1} 台あたりの使用期間 ^{※2} における CO ₂ 排出量 ^{※3} × 販売台数 ※1: 大便器・ウォシュレット・水栓金具・浴槽 ※2: 当社が定める商品分類毎の使用期間 ※3: 主要商品を販売した地域における、商品性能と使用状況モデル(業界団体公表資料や論文等に基づいて設定)に基づく、商品使用時の水・エネルギー消費に伴う CO ₂ 排出量 【電力の CO ₂ 排出係数(国内)】 電気事業連合会「電気事業における環境行動計画」に示されている CO ₂ 排出係数(調整後)の 5 年間平均値(2009 年度～2013 年度実績平均値) 【電力の CO ₂ 排出係数(海外)】 GHG Protocol, Calculation Tools, “Indirect CO ₂ Emission from Purchased Electricity. Version 3.0” 【水の CO ₂ 排出係数(国内)】 省エネ・防犯住宅推進委員会「省エネ・防犯住宅推進アプローチブック」 【水の CO ₂ 排出係数(海外)】 環境省・経済産業省の調査報告書等に基づき定めた CO ₂ 排出係数を使用。 販売した地域毎に 0.39kg-CO ₂ /m ³ ～1.11kg-CO ₂ /m ³ にて設定。 【ガスの CO ₂ 排出係数】 環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver.4.1)」の値を使用
エネルギー消費量	事業所での電力と燃料、熱の消費におけるエネルギー消費量の合計
購入電力量	事業所での購入した電力の合計
再生可能エネルギー発電量	事業所で発電した再生可能エネルギーの合計
水使用量	事業所での取水量(上水道・地下水・工業用水)の合計
地下水使用量	水使用量のうち、地下より取水した水の合計
排水量	事業所より下水および河川へ排出した水の合計

再生利用水量	事業所にて再利用された水の合計
廃棄物発生量	事業所での廃棄物発生量の合計
廃棄物最終処分量	事業所にて発生した廃棄物のうち、再資源化されず最終処分された量の合計
リサイクル率	事業所にて発生した廃棄物における、 廃棄物再資源化量／廃棄物発生量×100
TOTO 国内支社・営業所の古紙・ダンボールのリサイクル率	国内の TOTO の支社・営業所における古紙・ダンボールのリサイクル率
国内販社・施工グループ会社の古紙・ダンボールのリサイクル率	国内の TOTO グループ販社・施工会社の古紙・ダンボールのリサイクル率
化学物質排出量	事業所における化学物質排出量
SOx 排出量	事業所における SOx 排出量
NOx 排出量	事業所における NOx 排出量
ばいじん排出量	事業所におけるばいじん排出量
COD (化学的酸素要求度)	国内の TOTO グループの全事業所のうち、水質総量規制制度の対象となる 5 事業所での平均実測値
窒素含有量	国内の TOTO グループの全事業所のうち、水質総量規制制度の対象となる 5 事業所での平均実測値
りん含有量	国内の TOTO グループの全事業所のうち、水質総量規制制度の対象となる 5 事業所での平均実測値
PRTR 法規制対象物質	PRTR 法の対象となった 16 事業所で年間取扱量が 1t 以上(特定第一種指定は 0.5t 以上)あった対象化学物質の合計



独立した第三者保証報告書

2017年6月5日

TOTO 株式会社
代表取締役 社長執行役員 喜多村 円 殿

KPMG あずさサステナビリティ株式会社
大阪市中央区瓦町三丁目6番5号

代表取締役 斎藤 和彦
取締役 松尾 幸喜

当社は、TOTO 株式会社(以下、「会社」という。)からの委嘱に基づき、会社が作成した2016年度環境データ集(以下、「環境データ集」という。)に記載されている2016年4月1日から2017年3月31日までを対象とした図マークの付されている環境パフォーマンス指標(以下、「指標」という。)に対して限定的保証業務を実施した。

会社の責任

会社が定めた指標の算定・報告基準(以下、「会社の定める基準」という。環境データ集に記載。)に従って指標を算定し、表示する責任は会社にある。

当社の責任

当社の責任は、限定的保証業務を実施し、実施した手続に基づいて結論を表明することにある。当社は、国際監査・保証基準審議会の国際保証業務基準 (ISAE) 3000「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」、ISAE3410「温室効果ガス情報に対する保証業務」及びサステナビリティ情報審査協会のサステナビリティ情報審査実務指針に準拠して限定的保証業務を実施した。

本保証業務は限定的保証業務であり、主として環境データ集上の開示情報の作成に責任を有するもの等に対する質問、分析的手続等の保証手続を通じて実施され、合理的保証業務における手続と比べて、その種類は異なり、実施の程度は狭く、合理的保証業務ほどには高い水準の保証を与えるものではない。当社の実施した保証手続には以下の手続が含まれる。

- 環境データ集の作成・開示方針についての質問及び会社の定める基準の検討
- 指標に関する算定方法並びに内部統制の整備状況に関する質問
- 集計データに対する分析的手続の実施
- 会社の定める基準に従って指標が把握、集計、開示されているかについて、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施
- リスク分析に基づき選定した国内外の4拠点における現地往査
- 指標の表示の妥当性に関する検討

結論

上述の保証手続の結果、環境データ集に記載されている指標が、すべての重要な点において、会社の定める基準に従って算定され、表示されていないと認められる事項は発見されなかった。

当社の独立性と品質管理

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく独立性及びその他の要件を含む、国際会計士倫理基準審議会の公表した「職業会計士の倫理規程」を遵守した。

当社は、国際品質管理基準第1号に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の要件の遵守に関する文書化した方針と手続を含む、包括的な品質管理システムを維持している。

以上